

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 568 号	氏名	北村 峰昭
学位審査委員	主 査	下川 功	
	副 査	大園 恵幸	
	副 査	酒井 英樹	
論文審査の結果の要旨 1 研究目的の評価 本研究は、腹膜透析療法の合併症である腹膜線維症の発症機序と抑制について研究したもので、目的は十分に妥当である。 2 研究手法に関する評価 腹膜透析液中のメチルグリオキサール (MGO) による腹膜線維症誘発マウスモデルを用いて、免疫染色法による advanced glycation end products (AGEs) の沈着や炎症、血管新生マーカーなどを腹膜において形態学的に評価した。さらに、茶カテキンの一種であるエピガロカテキンガレート (EGCG) の抑制効果を検討した研究手法も妥当である。 3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、EGCG が MGO 誘発腹膜線維症を AGE の沈着に引き続く NF-κB を中心とした炎症シグナルを制御することによって、有意に抑制することを示した。今後の腹膜透析療法による合併症の制御への応用を示唆し、腎不全患者の治療と予後に貢献することが期待される。 以上のように本論文は透析患者の合併症の発症と予防に関する研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。			